

いかるが

斑鳩



11月号の目次

- 2 令和3年度 決算報告
- 9 住民活動センターだより
- 10 斑鳩文化財センターだより
- 11 図書館だより
- 12 観光ボランティアの会20周年
- 14 パゴにつき
- 15 「太子ゆかりの地友好都市提携」締結25周年
- 16 まちの情報
- 19 斑鳩町防災訓練
- 20 児童虐待防止推進月間
- 22 保健センターだより



11月9日(水)~15日(火)は秋季全国火災予防運動期間です

掲載しているイベント等の情報は、10月18日時点での情報です。新型コロナウイルス感染症の拡大状況により中止する場合があります。



令和3年度 決算報告

9月の町議会定例会で、令和3年度の決算が認定されました。

今回は、令和3年度の主な事業を、総合計画の**7つの基本目標**に基づきご紹介いたします。

また、斑鳩町の財政状況についてもご紹介いたします。

【問合せ】政策財政課（☎内線253）

1 安全・安心にらせるまちにします



自治会防犯カメラ設置への助成

- 自発的な防犯活動を支援するため、自治会等に対し、防犯カメラの設置費用の一部を助成
- 高齢者の特殊詐欺等の犯罪被害を未然に防止するため、自動応答録音機能を有する被害防止対策機器の購入費用の一部を助成
- 災害時に避難が困難な避難行動要支援者への支援体制を構築し適切な支援をはかるため、関係機関との連携等を実施
- 自然災害等による甚大な被害からの復旧の迅速化をはかるため、地籍調査を実施

2 コンパクトで質の高い持続可能なまちにします



証明書交付機の設置

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として、オンライン会議・相談支援体制の整備や和式トイレの洋式化などの改修を実施
- 住民の負担軽減やサービスの向上をはかるため、対面することなく各種証明書の交付が可能な証明書交付機を役場庁舎内に設置
- 一部通学路へグリーンベルトを設置

3 子どもの未来が輝くまちにします



小規模保育所ほうりゅうじみなみ

- 小規模保育所ほうりゅうじみなみの開所を支援
- 子育て家庭や妊産婦を支援するため、生き生きプラザ斑鳩内に総合相談窓口である「子ども家庭総合支援拠点」を設置
- 児童生徒のいじめ、不登校、非行や心の問題にさらに対応するため、町独自のスクールカウンセラーを配置
- 環境に配慮した学校施設整備の一環として、斑鳩南中学校の照明設備をLED化
- 幼児の健やかな育成と保護者の子育て支援を目的として、町立幼稚園で預かり保育を開始

4

誰もが健やかに生き生きとくらせるまちにします



- 中央体育館の移動式バスケットゴールを更新
- 制度の狭間にいる人を必要なサービスへつなぐための包括的支援体制を構築
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、消毒液等の衛生用品を購入
- 健康寿命の延伸につなげるため、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施
- 中学3年生までの子どもを養育する人に、子ども医療費の自己負担分を助成

5

つながりを大切にするまちにします



- 協働のまちづくり活動提案制度により、住民活動団体などの事業に補助金を交付
- コミュニティ活動の拠点整備として、龍田西地区における地域交流館の建設に向けた協議を実施
- 一人ひとりが個人として尊重される男女共同参画社会を実現するため、女性就業支援セミナーを実施

6

魅力に満ちた活力あるまちにします



- 聖徳太子1400年御遠忌を迎え、聖徳太子を偲び、斑鳩町への誇りと愛着を深めるため「和のあかり」プロジェクトを実施
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けた地域経済の活性化対策として、斑鳩町地域振興券を発行
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により事業活動に影響を受けている町内の事業主を対象に、事業継続に活用できる支援金を給付
- 奈良県とのまちづくり基本協定を締結し、まちづくり基本構想を策定

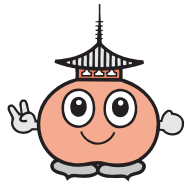
7

悠久の歴史と文化、自然を大切にするまちにします



- 聖徳太子1400年御遠忌を契機に、斑鳩の里が発祥とされる金剛流能楽公演を開催
- いかるがホールの空調設備や大ホール舞台諸幕類を更新
- 斑鳩文化財センターのユニバーサルデザイン化をすすめるため、点字ブロックの設置や字幕・手話映像を挿入した文化財の紹介映像を制作

令和
3年度



斑鳩町の財政状況

一般会計決算

7億9,560万円の黒字

前年度比 +2億7,951万円
+54.2%

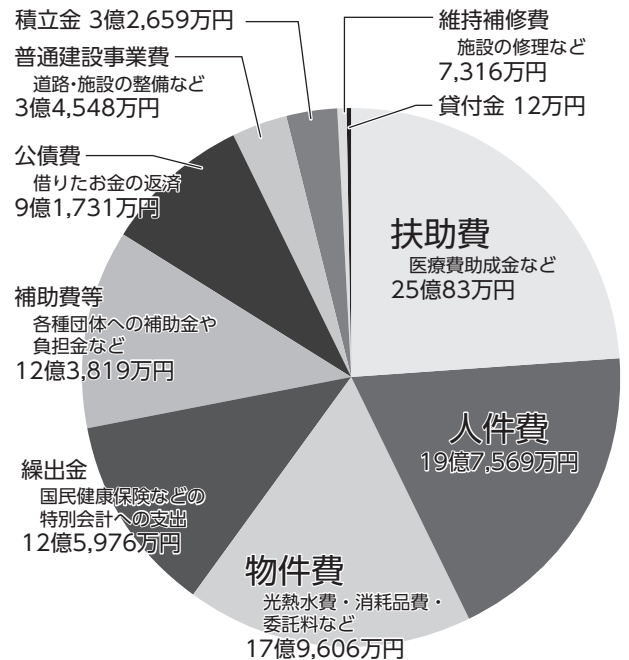
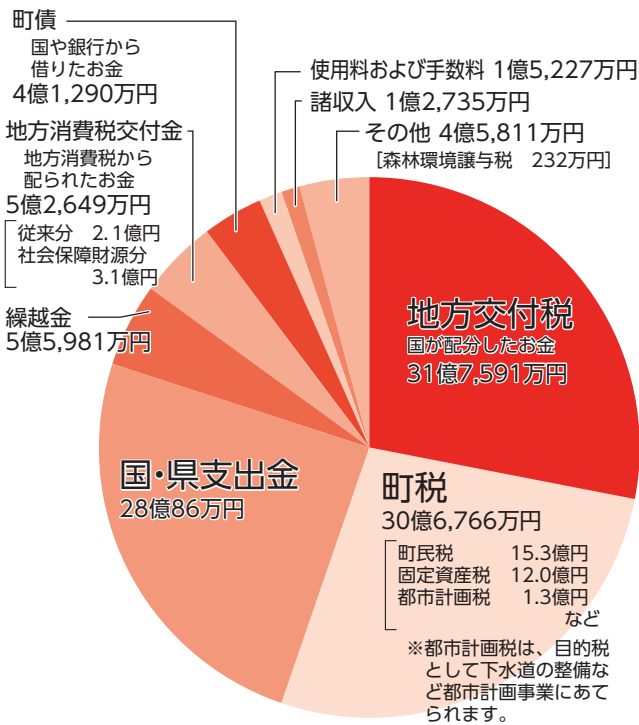
※「歳入」-「歳出」-「翌年度への繰越」

歳入 112億8,136万円

前年度比 ▲17億3,520万円 ▲13.3%

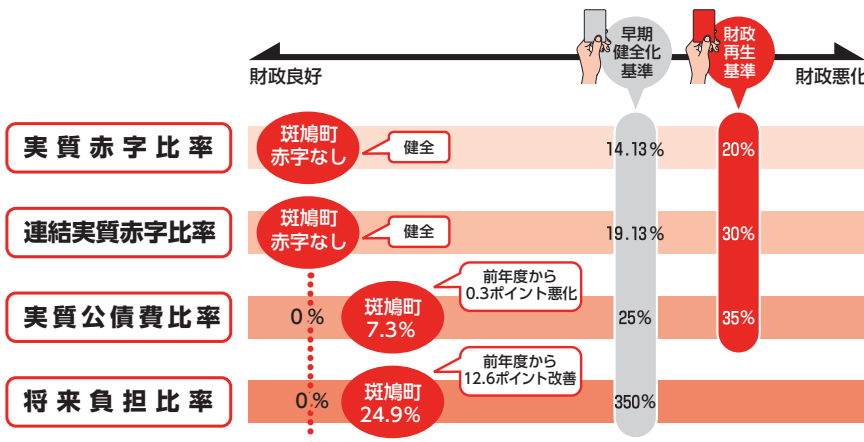
歳出 104億3,319万円

前年度比 ▲20億2,356万円 ▲16.2%



健全化判断比率

いずれの指標も国の基準を下回り、**財政状況は健全!**



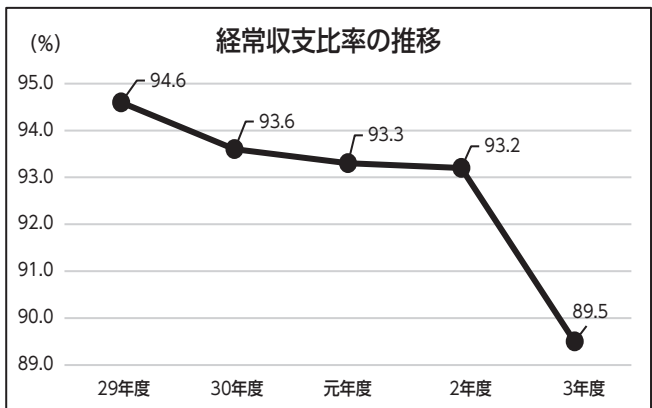
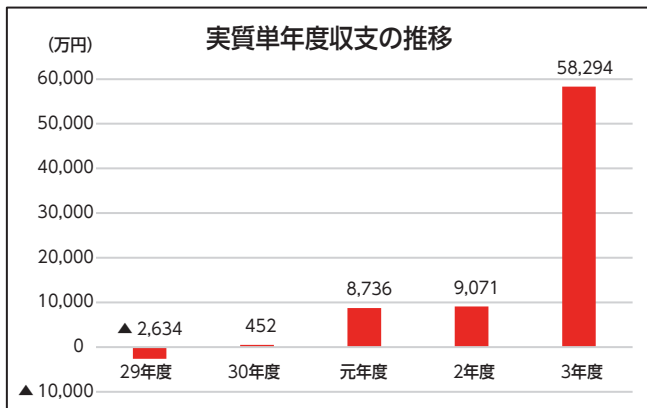
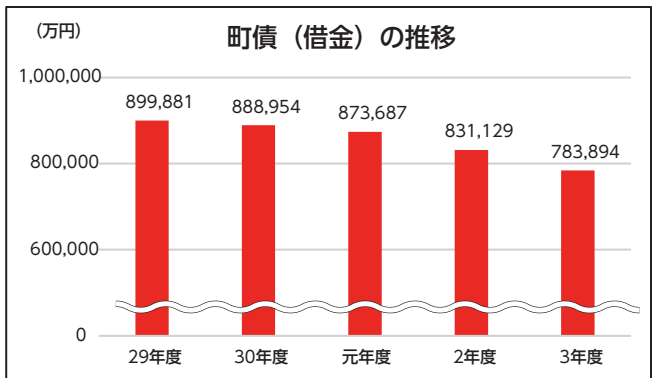
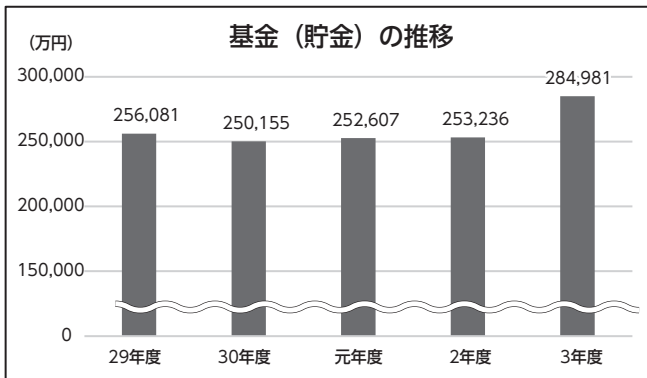
- 実質赤字比率**
標準財政規模に対して、一般会計などの赤字が占める割合
- 連結実質赤字比率**
標準財政規模に対して、すべての会計の赤字が占める割合
- 実質公債費比率**
標準財政規模に対して、地方債（国や銀行などからの借入金）の1年間の返済額が占める割合
- 将来負担比率**
標準財政規模に対して、将来負担すべき負債の割合

会計別決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額	収支差引額
一般会計	112億8,136万円	104億3,319万円	8億4,816万円
国民健康保険事業特別会計	29億1,624万円	29億8,296万円	▲6,672万円
介護保険事業特別会計 (保険事業勘定)	25億5,881万円	24億9,651万円	6,230万円
介護保険事業特別会計 (介護サービス事業勘定)	1,095万円	853万円	242万円
後期高齢者医療特別会計	5億 243万円	4億9,018万円	1,225万円
合計	172億6,980万円	164億1,138万円	8億5,841万円

※表中の金額は、表示単位未満を四捨五入して表示しているため、合計、差し引きとその内訳が一致しない場合があります。

一般会計の財政指標



- 実質単年度収支…その年の収入でその年の支出を賄うことができたかを示す指標。当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた「単年度収支」から、黒字要素である財政調整基金積立金や、赤字要素である積立金取崩額の影響を反映させた収支をあらわす。
- 経常収支比率…財政状況の弾力性を示す指標。経常的な一般財源（町税や普通交付税など）に対して、固定的に支出される経費（人件費や扶助費、公債費など）に使われた一般財源が占める割合をあらわす。

財政の健全化がすすんでいます

財政運営の良し悪しを判断する指標として、実質単年度収支と経常収支比率があります。一般会計の実質単年度収支は、平成30年度以降は4年連続で黒字となり、その黒字額も増加しています。令和3年度には、令和2年度の黒字額のうち一部を基金（貯金）に積み立てました。また、経常収支比率は、平成29年度と比較すると5.1ポイント改善しています。

さらに、基金残高も増加するなか、町債残高は年々大幅に減少しており、平成29年度と比較すると約11億6千万円、単年度平均で約2億9千万円の減少となっています。

今後も引き続き、各種事業の見直しなどによる経常的経費の縮減や歳入の確保を徹底し、持続可能な行財政運営に努めていきます。